

議会だより

平成27年5月14日発行 発行責任者：高崎市議会議長 編集：議会広報特別委員会

【主な内容】

住民投票の結果	2
1～3月会議で決めたこと	3
平成26年度補正予算	4
平成27年度当初主要事業	5
委員会レポート	9
一般質問（6人が登壇）	10
審議結果	13
ICT委員会	14
市民の声	15
議会だよりクイズ	16



新庁舎建設賛否を問う住民投票の結果

4月26日に執行されました住民投票は、以下の結果となりました。

平成27年4月26日執行壱岐市庁舎建設に関する住民投票結果				
	当日投票資格者(人)	投票者総数(人)	棄権者数(人)	投票率(%)
男	10,652	6,768	3,884	63.54
女	12,135	7,741	4,394	63.79
計(平均)	22,787	14,509	8,278	63.67

投票者総数	14,509票
無効投票数	177票
有効投票数	14,332票
賛成	4,629票
反対	9,703票



開票作業

この新庁舎建設にかかる協議として、壱岐市議会では庁舎建設検討特別委員会(委員長：市山 繁、副委員長：牧永 護)を発足し、4回の委員会を開催しました。その間、「市民の声を聴く会」を4町で開催し、参加人数のべ146人の市民から貴重な意見を拝聴しました。そのうえで慎重な審議を行い新庁舎建設の必要性について可決しました。その後、庁舎建設特別委員会(委員長：鶴瀬 和博、副委員長：市山 和幸)へと議論の場を引き継ぎ、5回の委員会を開催しました。この期間中に理事者側は、市民説明会を4回開催し合併特例債を利用したの庁舎建設の必要性を市民へ説明されました。市民の代表として各議員は説明会に出席し、市民の皆様から賛成・反対それぞれ熱の入ったご意見を拝聴しました。しかし、残念ながら参加者が少なかったことから、市長は広く民意を問わなければならないと考え、最終的に建設地を採択する予定だった平成27年2月27日の特別委員会で、住民投票の条例議案を提出されました。

平成26年7月18日の第1回検討委員会からの8ヶ月間、百年の体系と言われる庁舎建設問題について、協議の場のみならず、地域のなかでも会合や電話等で市民皆様から様々なご意見をいただきました。その一つ一つに真摯に向き合い、話し合いを重ねてきた結果が、4月26日の住民投票の結果だと認識をいたしました。

住民投票の結果、新庁舎建設反対という結論に至りました。今後は、合併特例債の活用等について、さらに市民の代表として壱岐市議会議員全員で協議を重ね、提案をしていく所存です。



1～3月会議で決めたこと

● 壱岐市長及び副市長の給与に関する条例等の一部改正について

国家公務員の特別職等の給与に関する取扱いの状況等を踏まえ、市長、副市長、教育長及び議会議員の期末手当支給率を調整する。県内10市中、12月議会で4市可決、5市可決された。

● 壱岐市電動車両用充電器利用料条例の制定について

市が設置する電動車両用充電器の利用料は別表のとおりとし日本充電サービスの収入とする。設置場所：一支国博物館駐車場（金額はいずれも消費税及び地方消費税を含まない額である。）

分類	利用区分	利用料
会員制認証 カード非所持	急速充電器	利用時間1～5分まで250円、 以降1分当たり50円とする
	普通充電器	利用時間1～15分まで120円、 以降1分当たり8円とする
会員制認証 カード所持	急速充電器及び 普通充電器	各会員制認証カード発行者の定める 額による

● 壱岐市民病院の長崎県病院企業団加入に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定について

行政組織条例、職員定数条例、職員の定年等に関する条例、給与に関する条例を一部改正した。

● 友好都市の制定について

1739年（元文4）生野一揆の罪で、但馬国（兵庫県）より壱岐へ配流となった朝来市出身の小山弥兵衛が壱岐の地域振興に生涯を捧げた縁で交流をかさねてきた。H26の歴史・教育・経済パートナーシップ宣言を経て友好都市提携を締結する。

● 壱岐市教育委員会委員の任命について

任期満了に伴う中原正博氏の再任に同意

● 人権擁護委員候補者の推薦について

任期満了に伴い西 高正氏の再任と、辻川祐喜子氏の新任を承認

● 長崎県病院企業団議会議員の選挙

長崎県病院企業団規約第7条第1号の規定に基づき、選挙する議員の数は壱岐市から2名であり、議長の指名推選により決定した。

議長の指名推薦により決定した。

市山 繁議員

市山和幸議員



長崎県壱岐病院

平成26年度 補正予算

一般会計の1月～3月補正額計	1億9,125万円
特別会計の1月～3月補正額計	△1億6,177万円
一般会計+特別会計補正後の予算総額	330億4,200万円

●平成26年度各会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	現計予算額	1月補正額	2月補正額	3月補正額	補正後予算額合計
一般会計	22,270,486	30,715		160,544	22,461,745
特別会計	国民健康保険	5,243,158		△137,800	5,105,358
	後期高齢者医療	307,685		△2,002	305,683
	介護保険	3,264,484		△32,967	3,231,517
	簡易水道	769,121		△1,600	767,521
	下水道	449,336		△2,500	446,836
	特養老人ホーム	441,764		14,800	456,564
	三島航路	129,877		290	130,167
	農業機械銀行	136,618			136,618
	合計	10,742,043			△161,779
一般会計・特別会計の合計	33,012,529	30,715		△1,235	33,042,009



どえ～な予算があると

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金

①地域消費喚起・生活支援型 81,659千円

地方公共団体が実施する、地域における消費喚起策や、これに直接効果を有する生活支援策に対して国が支援する。

●消費喚起プレミアム商品券発行事業 (国：62,700千円 市：4,990千円) 67,690千円

商工会・農協・漁協によりプレミアム付商品券を発行する。発行額：556,600千円

発行部数：50,600セット（1セット11,000円） 販売価格：10,000円/セット

●子育て世帯応援事業 (国：10割補助) 13,969千円

子育て世帯の経済負担の軽減を図る。発行額：48,400千円

発行部数：4,400セット（1セット11,000円） 子ども1名に対し1セット販売価格：8,000円

②地方創生先行型 88,253千円

地方人口ビジョンや杵岐市総合戦略を策定し、人口減少に歯止めをかけるとともに地域の活性化を図るため国が支援する。

●外出支援サービス事業 (国：4,000千円 市：1,314千円) 5,314千円

寝たきり等のため一般の交通機関では移送が困難な高齢者の社会活動範囲を広げ福祉の向上を図る。

片道1回当たり利用料600円（非課税世帯）、900円（課税世帯）

●高齢者・障害者向け配食サービス事業委託 (国：7,979千円 市：24,781千円) 32,760千円

栄養バランスのとれた食事を訪問により定期的に提供し、健康維持、疾病予防、安否確認を図る。

利用者1人当たり週7回まで、1日1食400円

●情報通信基盤整備工事 (国：4,050千円 地方債：4,000千円 市：50千円) 8,100千円

公共ネットワークを活用した観光・防災Wi-Fiステーション等を整備する。25カ所

●集落営農組織化・法人化支援事業 (国費10割) 7,100千円

H27産の米価等が下落した際に収入を補てんする制度に加入できるよう集落営農の組織化及び集落営農・複数個別経営の法人化等の取組促進

集落営農300千円×2組織 法人化500千円×13組織（国費10割）

●経営体育成支援事業 17,854千円

農業用機械の導入を行う。①機械導入11件（16台）17,524千円 ②追加的信用供与1件2,628千円

平成27年度当初予算

321億4,899万円

(対前年度比 2.1%増)

一般会計 208億5,600万円
特別会計 112億9,299万円

- ・国民健康保険事業 55億9,453万円
- ・後期高齢者医療事業 3億 563万円
- ・介護保険事業 33億2,773万円
- ・簡易水道事業 9億5,148万円
- ・下水道事業 4億4,520万円
- ・特別養護老人ホーム事業 4億 632万円

- ・三島航路事業 1億3,391万円
- ・農業機械銀行 1億2,819万円

企業会計：水道事業会計

- 収益的収入 1億8,739万円
- 収益的支出 1億6,211万円
- 資本的収入 329万円
- 資本的支出 2,939万円



私たちの暮らしに 身近な事業に注目

まちづくり

安全・安心の まちづくり交付金【新規】



事業費 16,247千円 単独

事業概要 自治公民館が取り組む自主防災活動及び福祉健康活動の促進を図る。

交付内容

1. 自主防災組織を設置している。(均等割10,000円、世帯数割250円)
2. 特定健診受診の推進
 - ①当該年度の受診率が市の定める目標率以上の受診(均等割1,200円、世帯数割120円)
 - ②当該年度の受診率が市の定める目標率の8割以上目標未滿の受診(均等割1,000円、世帯数割100円)
3. がん検診受診の推進
 - ①検診ごとの当該年度の受診率が市が定める目標率以上の受診(1種類当り均等割1,200円、世帯数割120円)
 - ②検診ごとの当該年度の受診率が市の定める目標率の8割以上目標未滿の受診(1種類当り均等割

1,000円、世帯数割100円)

4. 福祉保健部を設置及び活動している。(均等割3,000円、世帯数割200円)

まちづくり市民力事業

事業費 8,000千円 単独

事業概要

市民と行政の協働により、市民の自主的で創意あふれるまちづくり活動やコミュニティ活動の推進を図り、市民自ら考え行動する「まちづくり市民力事業」に対し支援を行う。



市民力事業(老岐の島泥んこバレー大会：今年度は6月14日開催)

人口減少対策

島外通勤・通学者 交通費助成事業

事業費 8,500千円 単独
(過疎債5,200千円)

事業概要

市民の島外への通勤及び通学を支援するため、吉岐市発着の船舶及び飛行機の利用にかかる交通費を助成することにより、定住人口の減少に歯止めをかけるとともに、将来のUターンを促進し、地域の活性化を図る。



観光

インバウンド自治体連携 観光推進事業

事業費 6,020千円 単独
(離島活性化交付金2,460千円)

事業概要

1. 福岡市との観光連携事業
観光プロモーション事業を福岡市と連携して実施し、外国人の誘客を図る。
2. ビジットジャパン地方連携事業
吉岐市と吉岐への玄関口である福岡市、更に広島県内4市の6市で連携し、外国人観光客誘致促進と認知度向上を図る。



情報発信

情報発信強化推進事業

事業費 32,320千円 単独
(離島活性化交付金14,660千円、
過疎債16,700千円)

事業概要

観光客の誘客を効果的に進めるため、旅行会社、マスコミ（テレビ・ラジオ・雑誌社）とタイアップして効率的な情報発信を行い、交流人口の拡大に繋げることを目的とする。

1. 情報発信基盤づくり事業
2. 外国語パンフレット等情報発信ツール整備事業
3. 戦略的な情報発信の強化事業
4. 吉岐市観光対策事業
5. 観光資産パワーアッププロジェクト事業
6. 市公認キャラクター「人面石くん」PR事業



福祉

生活困窮者 自立支援事業【新規】

事業費 14,351千円 補助
(国費11,155千円)

事業概要

吉岐市社会福祉協議会へ委託し、生活困窮者相談業務等を行い困窮状態から早期に脱却することを支援し、状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制の構築を図る。



保健

入院時コミュニ ケーション 支援事業【新規】

事業費 450千円 補助 (国県費337千円)

事業概要

意思疎通が困難な重度のALS（筋萎縮性側索硬化症）患者の方が入院された際、眼球運動を読み取ることのできるコミュニケーション支援員を派遣し、医師等とのコミュニケーションを支援する。



全国健康福祉祭(ねんりん ピック長崎2016)推進事業【新規】

事業費 2,768千円 補助
(県費1,549千円)

事業概要

全国健康福祉祭(愛称：ねんりんピック)は、スポーツや文化種目の交流大会を始め、健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与するもので、平成28年度に長崎県で開催され吉岐市ではウォークラリー競技を実施する。平成27年度はリハーサル大会の経費を計上。



子育て応援

ファミリーサポート センター事業



事業費 2,160千円 補助
(県費1,440千円)

事業概要

「子育てのお手伝いをしたい人」と「子育てを手助けしてほしい人」が、ともに会員となり一時的な子どものお世話を有料で行う、地域子育て支援活動。

- ・委託先 壱岐市社会福祉協議会
- ・利用会員 市内在住で生後4か月から小学6年生以下の子どもをもつ方。
- ・協力会員 市内在住で心身ともに健康で、積極的に援助活動を行うことができる18歳以上の方。

放課後児童クラブ施設整備事業

事業費 51,936千円 補助 (国県費32,074千円)

事業概要

現在箱崎地区の放課後児童クラブは民間委託であるが、社協芦辺事業所へ運営を譲渡するにあたり施設整備を行う。

また、郷ノ浦町でも新設運営の要望があっていることから、社協郷ノ浦事業所での開設に伴い施設整備を行う。

多子世帯保育料軽減事業【新規】

事業費 8,314千円 補助 (県費 2,707千円)

事業概要

幼稚園は小学校6年生以下の子ども、保育所は小学校3年生以下の子どもがいる家庭の第3子の保護者負担金を減免(所得制限あり)することにより、経済的負担を軽減する。

1. 小規模保育施設保育料減免分 414千円
2. 保育料システム改修 2,900千円
3. 保育所・幼稚園の保育料等の減免分 5,000千円
(※市運営分の歳出はなし)



水遊び (勝本幼稚園)

離島活性化

離島輸送コスト 支援事業



事業費 74,734千円 単独
(離島活性化交付金34,366千円、過疎債34,300千円)

事業概要

離島から本土へ出荷する農水産物を対象に、海上輸送コストの2/3を助成する。農業関係分 30,000千円、水産分 44,734千円

水産振興

新生水産県ながさき 総合支援事業



事業費 34,350千円 補助
(県費22,900千円、過疎債11,400千円)

事業概要

水産業の収益性改善を図る取組を強化すること、資源を守りながら現在の漁業生産を確保すること、並びに意欲ある中核的な担い手を育成することを基本的な考え方とし、各種施策の効果的な展開を図る。

産地水産業強化支援事業

事業費 122,194千円 (国費81,463千円、
県費14,811千円、過疎債25,900千円)

事業概要

水産業生産基盤としての共同利用施設等の整備により、効率的かつ安定的な漁業経営の育成を図ることを目的として、今回壱岐東部漁協の製氷施設を改築し、漁獲物の鮮度保持を図り魚価の向上及び所得向上を図る。

水産基盤整備事業

事業費 246,379千円 (県費169,820千円、
過疎債61,500千円)

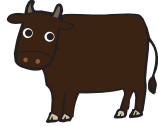
事業概要

漁港機能の整備と利便性向上、また、既存の漁港施設の維持補修工事を行う。

1. 市営漁港機能保全工事調査業務
2. 経済調査業務 (湯ノ本、諸津、大久保)
3. 壱岐地区再生漁村再生整備工事(大久保、小崎、湯ノ本、諸津)
4. 車止設置工事 (石田地区)
5. 半城湾浦ノ浜浮棧橋改修補助

畜産振興

地域肉用牛活性化 プロジェクト推進事業



事業費 25,500千円 単独 (過疎債22,900千円)

事業概要

経営的な規模拡大を志向する農家が生産性の高い肉用牛生産経営の確立を図り、モデル的で低コストな経営を行うための牛舎等を整備する。

- | | |
|---------------------|----------|
| 1. 淘汰更新による機能向上推進 | 12,000千円 |
| 2. 遊休及び低未利用施設の利活用推進 | 4,000千円 |
| 3. 緊急増頭対策 | 8,500千円 |
| 4. 壱岐牛ブランドアップ推進 | 1,000千円 |

家畜導入事業

事業費 32,940千円 補助
(県費23,960千円、過疎債8,000千円)

事業概要

肉用牛の維持・増頭対策事業として、導入にかかる費用の助成を行い、経営規模の維持・拡大に資することを目的とする。

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 優良タイプ (増頭) | 60頭×250千円 |
| 2. 一般タイプ (頭数維持) | 130頭×138千円 |

建設

道路改良工事



事業費 464,251千円 (国費147,000千円、
過疎債78,200千円、辺地債173,000千円)

事業概要

道路の整備をすることにより、交通の安全を確保し、観光産業の振興及び地域の活性化を支援する。

(補助事業) 11路線、(起債事業) 9路線、(単独事業) 9路線

安全・安心な住環境づくり支援事業

事業費 29,300千円 (県費7,013千円)

事業概要

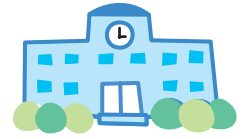
1. 住宅リフォーム支援事業として、平成25年度から平成27年度までの3年間事業の最終年度で、市内の建設業者に発注して、30万円以上の住宅のリフォームを行う方に、その工事費用の一部を補助し、地域経済の活性化と良好な住環境づくりを促進する。
(補助率10分の1、上限20万円、事業費総額20,000千円)

2. 住宅性能向上リフォーム支援事業補助金は、前年度に引き続き県の補助事業として、既存住宅のバリアフリー化などを行う方に、その工事費用の一部を補助を行う。
(事業費総額6,800千円 ※県の配分額により変動あり)

3. 老朽危険家屋除去支援事業補助金は、安全かつ安心な住環境づくりを促進するため、老朽化し危険な家屋等の除却を行う方に対し補助を行う。
(補助対象経費に2分の1を乗じて得た額とし、50万円を上限とする。事業費総額2,500千円)

学校施設

学校耐震改修事業



事業費 464,431千円 (国費120,361千円、全国防災債172,600千円、合併特例債162,300千円)

事業概要

学校施設は、児童生徒などの学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要であるため、耐震化の推進を図る。

- | | |
|----------------------------|-----------|
| 1. 小学校 (盈科、柳田、鯨伏、田河、初山、石田) | 431,897千円 |
| 2. 中学校 (郷ノ浦) | 32,534千円 |

芦辺小学校校舎改築事業【新規】

事業費 19,470千円 単独

事業概要

芦辺小学校の校舎改築については、平成29年4月の供用開始を目途に改築工事の設計委託業務を実施する。

スポーツ振興

子ども夢プラン 応援補助金【新規】



事業費 1,000千円 (ふるさと応援寄附金1,000千円)

事業概要

市内小中学生及び高校生で優れた能力を持ち、日々練習に励んでいる児童・生徒に対し、上部団体等から選抜され参加要請があった場合、その合同練習や大会等に参加する旅費等の一部を補助する。

筒城浜ふれあい広場ジョギングコース整備事業【新規】

事業費 76,055千円 単独 (辺地債74,200千円)

事業概要

筒城浜ふれあい広場にある遊歩道は、小中学校の駅伝大会等で使用していることや、実業団陸上部の合宿において練習場所として使用していることから、遊歩道を1kmの周回ジョギングコースとし、雨天時においても足元が悪くならないゴムチップウレタン舗装で整備を行う。



委員会レポート



予算特別委員会

本委員会に付託された議案第24号平成26年度
沓崎市一般会計補正予算（第10号）及び議案第
32号平成27年度沓崎市一般会計予算について審

査の結果両議案共に原案可決した。

【委員会意見】

平成27年度予算については、今後国の地方創
生関連の交付金の動向を見据え有効な活用が
出来るような配慮を願いたい。

総務文教厚生常任委員会

付託された議案25件、請願2件、陳情1件を
審査した。

全議案を可決し、請願第1号及び第2号のへ
き地保育所における公平な延長保育の実施につ
いては、島内保育所の実態把握が必要であるた

め現況調査を執行部に要請し再度審議すること
で、継続審査とした。陳情1件は採択した。

【委員会意見】

議案第5号、沓崎市長及び副市長の給与に関
する条例等の一部改正については、現在の社会
情勢では市民の理解が得られない等の意見はあ
りましたが、国家公務員の特別職等の給与に関
する取扱い状況と長崎県内13市の
期末手当の支給率を比較すると沓崎市は低い水準であることから原
案可決となった。（県内の議案可
決状況：H26.12月議会可決4市、
H27.3月議会可決5市、改正前
から高率であったのは3市）



【特養ホーム・ハッピーヒルズ】



産業建設常任委員会

付託された議案14件、要望1件を審査した。議案13
号「沓崎市電動車両用充電器利用料条例の制定」及び
議案17・18号「公の施設（筒城浜ふれあい広場・シー
サイド小水浜）の指定管理者の指定」の3件は現地調
査を実施し、全議案を可決した。要望1号「離島航路
における海上高速交通体系の維持について」は、内容
調査に時間を要するために継続審査とした。

【委員会意見】

◎簡易水道事業と上水道事業の統合準備と並行して、漏水対策の事業計画
を策定し、安全・安心な水道水の安定供給と有収率向上に努めること。



シーサイド小水浜



沓崎市電動車両用充電器（一支国博物館）

Q 地域振興が吉岐の振興

第2次総合計画と合わせ地方創生法制定により各施策の数値目標を設定した「地域人口ビジョン」「5か年の地方版総合戦略」を策定し、政策評価を施行しなければならない。

①第1次計画の総括、評価を早期に行い、2次計画に反映を。

②地域実情も踏まえ、計画策定は住民参加型で。

③市の政策評価は実施時期が遅い。要綱には外部評価実施とあるが。

④国の人材支援、地域経済分析など最大限活用すべき。

⑤人口減少対策は官民一体の取組が重要。弘前市のように移住応援企業認定制度を創設しては。

⑥内需拡大と地域振興のため地域へ戸建て公営住宅建設を。

⑦公営住宅管理など民間にできるものは民間に。行政改革推進委員会でも民間委託など協議すべき。

⑧通年の市道管理等で新たな雇用創出が可能では。

A 同感である

市長

①早い段階で総括、評価を行い、次期総合計画、地方版総合戦略に反映させる。

②各年齢層の市民はじめ産学金労言等の意見を十分聞き、住民参加型で策定する。

③ご指摘の通り。外部評価は未実施のためお詫びし、改善する。

④人材派遣も含め積極的に活用したい。

⑤他市の事例も参考にし、人口減少対策に取組む。

⑥検討を進めたい。

⑦事業者数や地理的條件等で厳しいが、市民サービス向上、経費節減、人員削減等のメリットもあり十分検討したい。

⑧伐採樹木が木質バイオマス発電の資源として活用されれば発電施設の管理運営など雇用創出が期待できる。



人口減少対策会議

鵜瀬 和博 議員



今西 菊乃 議員

Q 生活習慣病対策について

①医療費の増高で国保税は年々上がる。全国の平均寿命は男女とも80歳を超え、健康寿命との差が男性9年、女性12年となっている。長崎県は平均寿命も健康寿命もワーストクラスであり、吉岐市は県内でもワーストクラスである。平成24年の特定健診の結果で県内ワースト1位が4項目（メタボ該当者数割合・糖・ヘモグロビンA1c6・5%以上の割合・尿蛋白（+）以上の割合・肝機能γ-GTが高い割合）となっている。現状を市民に知らせ生活習慣病対策が必要。



②受動喫煙防止対策を自治公民館でも取り組む必要がある。公共施設の入口付近での喫煙所は移動すべき。

A 市民の意識高揚

市長

①医療機関・健康づくり推進員・ヘルスメイト等と連携を図る。まずは市民の意識を高めるよう取り組む。

②吉岐は全国・県内でも喫煙率、肺がんによる死亡率が高い。啓発に取り組む。

Q 避難施設の整備について

特に自主避難施設に情報を得る放送関係・告知器さえ無い所がある。

A 携帯型で対応

市長

9カ所が未設置であり、点検整備は各関係機関で行っていただきたい。



土谷 勇二 議員

Q 原子力防災について

川内原発は夏にも再稼働の見通し。玄海原発も同じ手順で再稼働されると思う。①市独自で避難経路は策定しているのか。他市では体育館の一部を気密性高める整備をしているが。

- ②市の防災計画に安定ヨウ素剤の保管場所や数量など書いてない。身近な場所に置いて住民に知らせるべき。
- ③学校・デイサービスなどの避難体制は。
- ④対策本部は勝本庁舎ではなく設備が整った消防本部の活用を。

A 早急に取り組み

市長

- ①吉岐は家屋散在しているので避難経路を指定するのは難しい。気密性の整備はEPZ10キロ以内の施設しか補助がない。
- ②30キロ圏内の人口分を市民病院に保管。服用は原則医師の関与の下で27年度30キロ圏内の学校施設に県か



防災訓練スキミングチェック

- ら配布される。
- ③避難計画の作成に至っていない。
- ④もし全戸避難となった場合、最後まで指揮を取るため勝本庁舎で。

A 避難訓練のみ実施

教育長

各学校に備え付けの防災安全管理マニュアルをもとに、初期的な避難訓練を実施している。

Q 観光振興について

観光オフシーズン12月、1月、2月にフェリー代をワンコイン化をして帰省客や観光客を増やせないか。

A 現段階では厳しい

市長

国境離島新法の成立を願う。



赤木 貴尚 議員

Q 公共施設、インフラの老朽化について

吉岐市全体で管理、委託されている公共施設、インフラの老朽化に対して人口減少に伴い施設の必要性や、課題について

A 公共施設等総合管理計画を策定する

市長

本市においては、施設の老朽化、人口減少、少子高齢化により、将来を見据えた公共施設のあり方について適正な管理が行えるよう公共施設等総合管理計画の策定を考えている、管理に関する基礎情報の固定資産税台帳を整備し29年度から実施する。

Q 中学校の廃校再利用について

統廃合が行われ4年が経過している廃校の再利用はどのように考えているのか



廃校施設

人口減少が進む中で住宅マスタープランでは、新しい住宅は造らないとしている、Iターンの方に提供する。Iターンの方は検討したい。

A 検討したい

市長



A 未確定だが予定がある

市長

芦辺町の廃校跡地は福祉施設へ提供し、郷ノ浦町廃校跡地は体験農園として再利用したいとの申し入れを受けている。

Q 住宅整備について

人口減少に伴い、空き家、空き室が出てくる。Iターン、Uターンの方に期間限定（家賃無料・水道光熱費有料）で提供してはどうか

呼子 好議員



過去、温泉掘削に反対が多かったが今でも泉源の方々の理解を得たい。

A 温泉掘削に理解を **市長**

④ 新たな温泉の掘削は。

① 猿岩・温泉・いるか・ゴルフ・古墳を含めた観光名所・保養地・グルメの街に。
② 海の駅にトイレ、物産館の併設、サンドーム・宿泊施設の改修を。
③ 学校・特養跡地や埋め立て地の利活用は。実業団、学生の合宿、保養地に。

Q 湯ノ本温泉を核にした観光地に

地方人口ビジョン及び地方創生総合戦略を今年9月を目標に吉岐市の特色を生かした総合戦略としたい。国からの人的支援に、吉岐市は副市长として迎える要望をしている。

A 特色を生かした戦略策定 **市長**

① まち・ひと・しごと創生戦略策定は自治体、特に農業・水産・観光等地方に埋もれた潜在能力を最大限引き出すやる気の自治体に情報支援、人的支援を行う市の計画は。
② 人的支援の要請は。省庁は。

Q 地方創生策定計画について

あきらめていない。特養ホームの跡地は29年4月に専門学校が開校予定。湯ノ本の振興・活性化につながる。特養の前の埋め立て地は分譲を視野に入れている。



湯本温泉

Q 和牛は世界一おいしい肉。増頭計画は

① JAの26年度肉用牛販売額37・6億円、漁獲高と同額。吉岐の経済に貢献。高齢化で休止が多い。若い参入者の希望と、牛舎の対策は。
② 国は繁殖牛1頭118・10万円で緊急予算措置した。市の助成措置と、専門技術者の養成は。

A 畜産の振興を図る **市長**

増頭に向けた国・県の補助事業を推進していく。平成27年6件140頭、28年215頭計画。空き牛舎物件が12件ありJAと協議している。遊休牛舎・増改築等に500万円上限の40%補助している。技術者の養成は専門はJA、振興局。経営に行政が携わる事は慎むべき。

音嶋 正吾 議員

Q 特定海域について

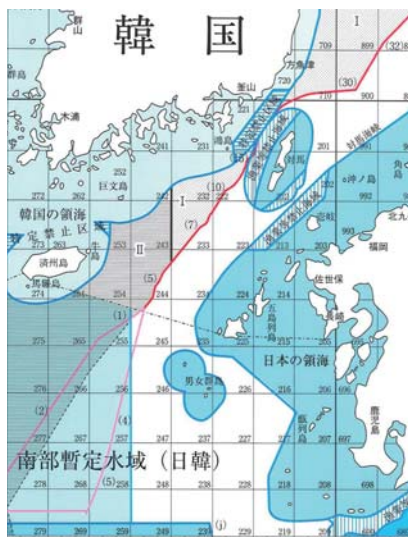
対馬海峡は領海幅が3海里の特定海域に指定されている。日本でも屈指な漁場である七里ヶ首根は公海である。国境離島新法が制定されたならば国境離島に指定されるべき要請活動を展開すべきでは。

A 国防上の指定と認識 **市長**

非核三原則を堅持する上で公海が

Q 吉岐を元気に

設置されていると認識している。



対馬海峡

特定海域での領海の境界線を表示したものです(濃い青色は領海を表しています)。

【注釈】
公海：各国が自由に航行できる
領海：国の領域。原則12海里・約22km
特定海域：対馬・宗谷・津軽・大隅各海峡で領海3海里である

A 行うは難し **市長**

① 国・県の補助制度を有効活用して支援している。
② 海士町の振興策は大変参考になる。
③ 二年前に建設業者にアンケート調査を実施。参入に否定的。集落営農組織に働きかけている。

① 旧態然の産業政策では、吉岐の将来はない!! 本年度の有効求人倍率は県下最下位である。有効な具体策はない!! 人づくりを。
② 地域振興は箱物作りではない!! 人づくりを。
③ 畜産振興は建設業の参入が鍵では。

議案と審議結果一覧表（1月～3月会議）

開催月	番号	議案内容	付託委員会	本会議採決結果
1月	報告第1号	平成25年度沓崎クリーンエネルギー株式会社に係る経営状況の報告について	—	1/26 報告済
	議案第1号	平成26年度沓崎市一般会計補正予算（第9号）	省略	1/26 可決
	発議第1号	沓崎市議会基本条例の一部改正について	省略	1/26 可決
3月	議案第2号	沓崎市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画の策定について	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第3号	長崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第4号	沓崎市行政手続条例の一部改正について	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第5号	沓崎市長及び副市長の給与に関する条例等の一部改正について	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第6号	沓崎市立小・中学校設置条例の一部改正について	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第7号	沓崎市健康公園条例の廃止について	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第8号	沓崎市母子健康センター条例の廃止について	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第9号	子ども・子育て支援法施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第10号	沓崎市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例の制定について	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第11号	沓崎市子ども・子育て支援法第87条の規定による過料に関する条例の制定について	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第12号	沓崎市介護保険条例の一部改正について	総務文教厚生	3/23 採択
	議案第13号	沓崎市電動車両用充電器利用料条例の制定について	産業建設	3/23 採択
	議案第14号	沓崎市民病院の長崎県病院企業団加入に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定について	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第15号・16号	公の施設の指定管理者の指定について（沓崎市芦辺浦住民集会所・沓崎市高等職業訓練校）	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第17号・18号	公の施設の指定管理者の指定について（沓崎市筒城浜ふれあい広場・沓崎市シーサイド小水浜）	産業建設	3/23 可決
	議案第19号	友好都市の提携について	産業建設	3/23 可決
	議案第20号	財産の無償譲渡について	産業建設	3/23 可決
	議案第21号・22号	公有水面埋立（郷ノ浦港区域内・大島（沓崎）漁港区域内）について	産業建設	3/23 可決
	議案第23号	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	産業建設	3/23 可決
	議案第24号	平成26年度沓崎市一般会計補正予算（第10号）	予算特別	3/23 可決
	議案第25号	平成26年度沓崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第26号	平成26年度沓崎市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第27号	平成26年度沓崎市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第28号	平成26年度沓崎市簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）	産業建設	3/23 可決
	議案第29号	平成26年度沓崎市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	産業建設	3/23 可決
	議案第30号	平成26年度沓崎市特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算（第3号）	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第31号	平成26年度沓崎市三島航路事業特別会計補正予算（第3号）	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第32号	平成27年度沓崎市一般会計予算	予算特別	3/23 可決
	議案第33～35号	平成27年度沓崎市国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険事業特別会計予算	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第36～37号	平成27年度沓崎市簡易水道・下水道事業特別会計予算	産業建設	3/23 可決
	議案第38～39号	平成27年度沓崎市特別養護老人ホーム・三島航路事業特別会計予算	総務文教厚生	3/23 可決
	議案第40号	平成27年度沓崎市農業機械銀行特別会計予算	産業建設	3/23 可決
	議案第41号	平成27年度沓崎市水道事業会計予算	産業建設	3/23 可決
議案第42号	沓崎市子ども・子育て支援事業計画の策定について	総務文教厚生	3/23 可決	
議案第43号	沓崎市庁舎建設に関する住民投票条例の制定について	省略	3/9 可決	
議案第44号	平成27年度沓崎市一般会計補正予算（第1号）	省略	3/23 可決	
同意第1号	沓崎市教育委員会委員の任命について	省略	3/23 同意	
諮問第1号・2号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	3/23 了承	
請願第1号・2号	へき地保育所における公平な延長保育の実施についての請願	総務文教厚生	3/23 継続審査	
陳情第1号	知的障害者入所施設建設に関する陳情	総務文教厚生	3/23 採決	
要望第1号	離島航路における海上高速交通体系の維持についての陳情要望	産業建設	3/23 継続審査	
発議第2号	沓崎市議会委員会条例の一部改正について	省略	3/23 可決	

◆賛否（賛成・反対）のあった議案

○…賛成 ×…反対

議案名番号 （上記を参照）	赤木 貴尚	土谷 勇二	呼子 好	音嶋 正吾	小金丸 益明	深見 義輝	今西 菊乃	市山 和幸	田原 輝男	豊坂 敏文	中田 恭一	久間 進	市山 繁	牧永 護	鵜瀬 和博	賛 成	反 対	結 果
沓崎市長及び副市長の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	10	5	可決
沓崎市庁舎建設に関する住民投票条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1	可決

壱岐市議会 ICT 導入検討委員会発足



ICTとは：情報処理および情報通信、つまり、コンピュータやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称である。IT（情報技術）のほぼ同義語。

①委員会設置の目的

タブレット端末の普及が加速するなか、全国の議会や自治体においても、タブレット端末の利点を生かした議会導入が進められている。

当委員会においてもタブレット端末の導入について、次の3つのテーマを検証するとともに、議会全体で情報（検証結果）を共有し、議会としてタブレット端末の導入に向けた一定の成果（結論）を出すことを目的とする。

1. 議案書や市が作成する計画書など、議会招集通知を含む案内文書全てのペーパーレス化及び議案書印刷にかかる経費削減
2. 議案書作成にかかる職員の労力軽減
3. 議会運営（本会議及び委員会等）及び審議の効率化

②検討内容

1. 導入メリットの検討 ①議員の利便性向上
②執行部の負担軽減
2. タブレット端末の選定（機種、モデル）
3. 文書（会議）共有システム（アプリ）の選定
4. コスト削減効果（試算・効果検証）
5. 労務削減効果（試算・効果検証）
6. タブレット端末運用規定（案）作成
7. 各種費用（見積）から見える導入効果（試算）のまとめ
8. その他委員会として必要な事項



ICT 導入検討委員会

目

に見える効果

- ①コピー代の削減
→ コピー機維持管理費（トナー、メンテナンス）
- ②紙代・消耗品費の削減
→ ホチキス、修正テープなど
- ③労務時間・人件費の削減
→ 議案、資料等作成
- ④議事録製本委託費の削減

目

に見えない効果

- ①議案、資料等の配付
→ 郵送、自宅持込など
- ②議案、資料等の修正
→ 差替え作業（電話等対応）
- ③議案、資料等の保管・廃棄
→ ファイル作業、ゴミ出し
- ④ゴミ削減・環境対応効果
- ⑤招集通知等の発送
→ 用紙代、郵便料の削減

【今後の取り組み】

委員会を数回開催し、具体的な削減額を早急に計上して協議結果を議会運営委員会へ報告し利便性とコスト削減について、議員はもちろん市民にもわかりやすいように説明していきたい。

「議会だより第44号」クイズ
応募者よりいただいたご意見ご感想です。
(応募者32人中 正解者31人)

市民の声

いよいよ転勤の日が決まりました。クイズに応募するのも今回で終わりなので寂しく感じます。来る前は、初めての島生活に不安でいっぱいでしたが、人の暖かさや自然豊かな所で本当に住みやすかったです。新しい所へ行ったら杵岐の良さをアピールしようと思っています。

女性 33歳

行政視察報告がなされるようになり、ありがたい事であるが、それに基づき議員さんの手腕が楽しみである。

女性 73歳

孫が4月から杵岐で就職します。大学生生活の4年間、島を離れ杵岐の方々の暖かさとおのありがたさを改めて感じたようです。「生まれ育った杵岐で恩返しをしたい」と言っています。若いパワーでもっともっと活性化して欲しいです!!

女性 78歳

議会だよりを読んでから、人口の減少に歯止めが未だ、かからずこの先過ぎていく状況でしょうけれども島内で交流が続いて行けたらと感じています。

女性 51歳

私は、仕事上観光のお客様と触れ合う機会があります。その際に、杵岐は道案内の看板が少なく初めて来た人には道が分かりづらいといった声をよく耳にします。住みなれた私たちでも道に迷ったりすることがあります。なので、もっと特に観光名所周辺の道案内の看板を中心に増やしてほしいです。

女性 27歳

イルカの街路灯やご当地マンホールを見つけては子供と一緒に楽しくなっています。もっと杵岐の島中に増えるといいなあと思います。

女性 37歳

現社会では、子供を巻き込んだ悲しい事件が日々ニュースで流れています。子供が安全で、子育てしやすい島であることを願います。

女性 61歳

市民の意見とか感想とか書くようになってますが、意見等は反映したり対処されたりしていますか？返答等をのせてもらったら意見の出しがいがあります。

女性 58歳

議会中継再放送、夜にして頂きありがとうございます。欲をいえば数回の再放送を希望します。他のは何回でも再放送があつてるのですから。よろしくお祈りしま〜す。

女性 49歳



議会だよりクイズ

この議会だよりの中に
答えがありますので、
最初から最後まで良く
読んでみてください。



Q1 「吉崎市民病院」は4月1日から
「〇〇〇〇〇〇病院」に生まれ変わりました。

Q2 タブレット端末導入に向けて
「吉崎市民議会〇〇〇〇導入検討委員会」発足

Q3 吉崎市は「〇〇市」と友好都市
提携を図る

第24回クイズの答え

①111 ②湯 ③三・二

応募総数32人中、31人が全問正解

第24回クイズの当選者

福原 孝子様 山内 礼子様

松本 兼次様 馬込千佐子様

瀬山 綾子様 (順不同)

おめでとうございます!

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、
ハガキでご応募ください。
議会だよりを読んだ感想や、市政へのご意見・ご要望などお
書き添えください。

ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介
させていただきます。

正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお
贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》 〒811-5521

吉崎市勝本町西戸触182-5 吉崎市議会事務局 宛

《しめきり》 平成27年6月30日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

編集後記

平成二十七年の新春を迎え、

三月は、卒業や異動により別れ

があり、四月は入学や、新しい

出会いがあり春から初夏にかけ

て、吉崎の島は、変わりゆく風

や香りが気持ちを新たにしてく

れ心地よい日々が過ごせます。

この季節の美しい花や若葉を

見ると「前向き」な気持ちにな

ります。平成二十七年度のス

タートで気持ちを新たに、吉崎

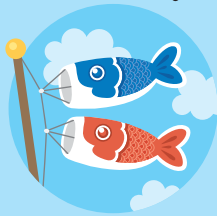
の島が、益々輝くように皆さん

と一緒にがんばりましょ

う。

赤木 貴尚

委員 委員 委員 委員



議会広報特別委員会
委員長 赤木 貴尚
副委員長 久間 進
委員 牧永 敏文
委員 豊坂 敏文
委員 深見 義輝
委員 土谷 勇二

お知らせ

吉崎市ホームページ

<http://www.city.iki.nagasaki.jp> の市議会の
インデックス(見出し)を検索すると、市長行政
報告および議員の一般質問の音声を生で聞く
ことができます。また市議会会議録は、議会事
務局・市役所本庁(総務課)・各庁舎(市民生活
班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。

公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞
い等の金品を送ることや、暑
中見舞い・年賀状などの挨拶
状や有料の広告は禁止されて
おります。市民みなさまのご
理解とご協力をお願い申し上
げます。吉崎市議会議員一同

編集 議会広報特別委員会

〒811-5521

長崎県吉崎市勝本町西戸触182-5

TEL:0920-42-1111

FAX:0920-42-0096

【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】 <http://www.city.iki.nagasaki.jp>



吉崎市議会だよりは地球に優しい植物油インキで印刷されています。